

News Release



独化学メーカーBASF(ビー・エー・エス・エフ)、 小学生を対象に化学と親しむ機会を提供

2010年8月4日

- 東京、愛知で計160人の小学生を対象に「Dr. ブラバーの子供実験教室」を開催
- 愛知県田原市では初めての実施
- 建設材料を使用した新しい実験を追加

お問い合わせ：
BASF ジャパン株式会社
クロス 雅子/大倉 真紀
TEL: 03-3796-4864 / 4865
FAX: 03-3796-4111
masako.cross@basf.com
maki.okura@basf.com

世界最大の化学メーカー、BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は、日本の小学生を対象とする化学実験教室「Dr. ブラバーの子供実験教室」を開催します。今年は、8月4日に BASF ジャパン株式会社の田原研究所がある愛知県田原市で、また8月21日と22日には日本科学未来館(東京都江東区青海)で実施される「夢・化学-21」のイベント内で開催します。BASF の「Dr. ブラバーの子供実験教室」は、身近な素材を利用した実験を通じ、子供達が楽しみながら化学を学ぶプログラムです。今年は、初めての試みとなる BASF の建設材料を用いた実験も用意しています。

愛知、東京での開催を通して、計160人の小学生が参加します。愛知県田原市の開催は今年が初めてで、近隣の小学校から参加する子供たちが BASF ジャパン株式会社の田原研究所で学びます。東京では8月21日・22日に、「夢・化学-21」委員会が、日本科学未来館(東京都江東区青海)で開催する夏休み向けのプログラムの一部として実施いたします。BASF が「夢・化学-21」に参加するのは今年で3回目です。2日間で6回のセッションを行います。

BASF ジャパン株式会社、成尾友良社長は、次のように述べています。

「『Dr. ブラバーの子供実験教室』を通して、子供たちは化学がどのような形で日々の暮らしに役立っているのかを学びます。このイベントをきっかけに、子供たちが化学に対する興味を持つてくれたらと願っています」。

愛知県田原市では、子供たちにも分かりやすく、また日常生活と関わりのある実験 2 種類を用意しています。ひとつは紙おむつなどの日用品に広く使われている高吸水性樹脂ポリマーの機能について学ぶ実験です。もうひとつは、うがい薬を使って食品などに含まれるビタミン C 含有量を測定する実験です。「夢・化学-21」のイベントでは、上記 2 種類の実験に加え、BASF ポゾリス株式会社の創立 50 周年を記念し、コンクリート混合剤を用いた新しい実験も行います。BASF ポゾリスは、日本における建設化学品業界のリーディングカンパニーです。

子供たちの実験は安全・安心な環境で行えるように、日本の BASF 各社のボランティア社員がサポートいたします。

「Dr. ブラバーの子供実験教室」は 1997 年に、BASF がインタラクティブな子供向け化学実験を体験する場として、本社ドイツでスタートしました。アジア太平洋地域では 2002 年、日本では 2003 年から開催されています。アジア太平洋地域で参加した子供は、累計で 12 力国、18 万 6000 人以上にのぼります。日本ではこれまでに、生産拠点と研究開発センターがある三重県四日市と、BASF ジャパン株式会社が本社を置く東京で開催してきました。

「夢・化学-21」についてはこちらをご覧ください。

<http://www.kagaku21.net/>

BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標榜する世界の化学業界のリーディングカンパニーです。製品ラインは、化学品、プラスチック製品、高機能製品、農業関連製品、ファインケミカル製品、石油・ガスと多岐にわたっています。BASFは信頼

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒106-6121
東京都区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー21 階
TEL: 03-3796-4864
FAX: 03-3796-4111
<http://www.japan.bASF.com>

に応えるパートナー企業として、化学を通じあらゆる産業のお客様のさらなる成功を支援しています。また、高付加価値製品と高度なソリューションの提供により、気候保全やエネルギー効率の向上、栄養、交通・運搬環境の改善といった世界的な課題の解決に重要な役割を果たしています。2009年の売上は500億ユーロを上回り、従業員数は約10万5,000人です。BASFの詳しい情報は、www.bASF.com(英語)をご覧ください。

日本の BASF について

BASF は日本では 1888 年に事業を開始いたしました。国内では、BASF ジャパン(本社: 東京都港区)と 6 社の関連会社で構成されています。事業活動は、化学品、プラスチック、機能性化学品、高機能製品、農業関連製品の 5 分野です。主要生産拠点は三重県四日市市(熱可塑性ポリウレタン、ポリマー・ディスパージョン)と、神奈川県茅ヶ崎市(コンクリート混和材、建設化学品)と横浜市戸塚区(塗料)です。「グレーター名古屋テクニカルセンター」(三重県四日市市)内には、製紙薬品、顔料、機能性ポリマー(ディスパージョン)、エンジニアリングプラスチック、および燃料電池向けの応用研究所があり、日本とアジア市場のお客様をサポートしています。尼崎研究開発センターでは、日本のお客様へのテクニカルサービスと、さらに先端技術産業のテクノロジーリーダーに近いという地理的利点を活かし、エレクトロニクス分野に特化した研究開発を行っています。特に「ディスプレー」、「エナジーマネジメント」、「マイクロエレクトロニクス」の分野にフォーカスし、日本発のイノベーティブで、グローバルな製品の開発を目指しています。2009 年の BASF の日本での売上げは 1,570 億円(12 億ユーロ)、従業員数は 1,600 人です。BASF ジャパンのホームページアドレスは、www.japan.bASF.com です。

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒106-6121
東京都区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー21 階
TEL: 03-3796-4864
FAX: 03-3796-4111
<http://www.japan.bASF.com>